

# 2019年度 副科実技の履修希望申請について

## 注意事項（副科ピアノを除く全楽器共通事項）

<p><b>【履修条件について】</b></p> <p>①学部1年次生及び大学院生は履修出来ません。 ただし、「副科合唱」「副科指揮法」は学部1年次生も履修できます。（※補足事項1参照） また、各専攻により副科の履修年度が定められている場合があるため、各自カリキュラム表も併せて確認すること。</p> <p>②1年間に履修できる楽器数は、1つです。（※補足事項2参照） ただし、作曲・指揮・邦楽・楽理及び音楽環境創造科の学生は、2つです。 なお、「副科独唱」「副科合唱」「副科指揮法」は、この制限科目数に含まれません。</p> <p>③中級の履修は、原則としてその楽器の初級の単位を修得し終え、試験・オーディション等に合格した者に限ります。 （ただし、副科弦楽器の中級については※注1【副科弦楽器について】を参照すること。）</p> <p>④新学期初日（2019年4月1日（月）予定）「2019年度副科実技担当教員との面談日時」を上野校地において掲示発表します。 履修予定者は、この掲示により面談日時を把握し、担当教員による面談を受けてから履修開始となります。面談に出席しない者に対しては、履修を認めません。</p> <p>⑤初級・中級問わず、一度単位を修得した楽器については、原則として再度履修できません。</p>	<p><b>【履修者の決定について】</b></p> <p>○履修希望者が定員を超過した場合、履修者は（※補足事項3参照）の基準に則り、決定します。（副科古楽は除く。詳細は古楽備考欄を参照。） 履修者決定のお知らせは後日掲示で発表します。 その結果落選した者に対しては、後日期日を定め、定員に対して空きが出た楽器について、追加での履修希望申請を認めます。詳細は、履修者発表時掲示で告知します。</p> <p><b>【履修登録・履修取り消しについて】</b></p> <p>&lt; STEP1. &gt; 各注意事項等をよく読んだ上で、履修希望受付期間内に「2019年度副科実技履修希望申請フォーム」より申し込んでください。 ※全員必ず第3希望まで入力してください。 ○受付期間： 2018年11月5日（月）16:00～11月15日（木）16:00 ○申請フォーム掲載場所： 藝大HP&gt; 学生生活&gt; お知らせ&gt; 音楽学部・研究科&gt; 2019年度副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻副主専攻流派 履修希望申請フォーム ※履修希望受付期間後の追加受付は一切出来ません。 (右上に続く)</p>	<p>(左下から続く)</p> <p>&lt; STEP2. &gt; 履修が認められた科目は、来年度（2019年度）4月の履修登録期間にCampus Planで忘れずに登録してください。 「2019年度副科実技履修希望申請フォーム」で申請をいただければ履修登録は完了しません。 CampusPlanでの履修登録が出来ていなかった場合、単位は付与されません。</p> <p>※原則として、履修希望申請後の取消は認めません。 ただし、やむを得ない理由により取消を希望する場合は、教務係で「副科実技履修登録取消願」を受領し、所定事項の記入、自身の専門実技担任教員の承認を得た後、教務係へ提出してください。 なお、2019年度（新学期）授業開始後の取消は認めません。 取消をしないで履修を放棄したもの、試験を受けないものは、以後、当該副科実技楽器の履修を一切認められなくなります。 （「副科独唱」「副科合唱」「副科指揮法」を除く）</p> <p><b>副科実技については、履修便覧「副科実技」の欄及び各専攻カリキュラムも併せて確認すること。</b></p>
--	--	---

## 2019年度開講予定科目一覧

開設教員室	楽器名	履修希望受付期間	入力フォームでの申請	開設級	備考1（楽器ごと）	備考2（開設教員室ごと）
声楽	独唱	2018年11月5日（月）16:00～ 2018年11月29日（木）16:00	必要	初級	独唱初級は、教職課程履修者、作曲・指揮科学生のうち選択科目として履修を希望する者、及び音楽環境創造科学生に対してのみ履修を認める。 副科独唱中級は、開設しない。 ※授業で使用する楽譜を、自分で購入する場合があります。詳しくは初回レッスン時に説明があるので、注意すること。	
	合唱	2019年4月にCampusPlan上で各自履修登録	不要	-	合唱は、教職課程履修者、作曲・指揮科学生のうち選択科目として履修を希望する者、及び音楽環境創造科学生に対してのみ履修を認める。 ※授業で使用する楽譜を、自分で購入する場合があります。詳しくは初回レッスン時に説明があるので、注意すること。	
オルガン	オルガン	2018年11月5日（月）16:00～ 2018年11月15日（木）16:00	必要	初級 中級	人数によっては、受講できない場合がある。応募多数の場合はオーディション、または面接を行うことがある。	
弦楽	ヴァイオリン	2018年11月5日（月）16:00～ 2018年11月15日（木）16:00	必要	初級	ヴァイオリン（初級）は、履修登録者数を20名に制限する。（うち、楽器未所有者は15名に制限する。）	<p>※注1【副科弦楽器について】 副科弦楽器中級は、オーディションに合格した者に対してのみ履修を認める。 なお、中級オーディションは、過去に初級の単位を修得していない者でも受けることができる。 中級オーディション不合格者に対しては、初級での履修を認めるが、すでに初級の単位を取得済みの場合、再度、初級の単位を認定することはできないので注意すること。 ※弦楽科学生が副科弦楽器の履修を希望する場合については初級ではなく、中級で履修希望調査票を提出すること。</p> <p>■副科弦楽器（ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス）中級履修オーディション予定日 2019年1月23日（水）（後実技試験終了後） ※オーディション詳細（場所等）については弦楽科掲示板にて必ず確認すること。（1月掲示予定）</p>
	ヴィオラ			初級	ヴィオラ（初級）は、大学から楽器を貸し出すことができないため、楽器を所有する者のみ履修できる。	
	チェロ			初級	チェロ（初級）は、履修登録者数を若干名に制限する。	
	コントラバス			初級	コントラバス（初級）は、履修登録者数を10名に制限する。（うち、楽器未所有者は3名に制限する。）	

開設 教員 室	楽器名	履修希望 受付期間	入力 フォーム での申請	開設級	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
管打 楽	フルート	2018年11月5日 (月) 16:00～ 2018年11月15 日 (木) 16:00	必要	初級	履修登録者数を10名に制限する。	応募者多数の場合はオーディション及び抽選などを行うことがある。 また応募者が少ない場合は開講しないことがある。 単位取得のための実技試験を受けること。  【副科管打楽実技を履修希望の学生へ】 1.副科実技の具体的な受講曜日・時間などは通常新学期(4月)初めの副科実技担当教員との面談を経て決定される。 しかしながら毎年副科実技担当教員との面談を無断で欠席するものが後を絶たないため、2018年度より副科実技担当教員との面談に出席しなかった者はその年度内の副科管打楽実技の履修を認めないこととする。 2.管打楽科は副科実技専門の担当教員を有していないので、管打楽科教員は専攻生の実技レッスンに加えて副科実技を担当することとなる。 このため指導可能な時間に上限があるので、履修希望調査票を提出してもその副科実技を必ず受講できるというものではなく、あくまでも副科実技担当教員とのスケジュールが一致した場合にのみ受講が可能となるので留意すること。
	オーボエ			初級	履修登録者数を5名に制限する。	
	クラリネット			初級	履修登録者数を8名に制限する。	
	サクソ フォン			初級	履修登録者数を6名に制限する。 (ただし楽器所有者の場合は6名を超えて履修を認めることがある。)	
	ホルン			初級	履修登録者数を4名に制限する。 (担当教員と相談の上マウスピースを各自準備すること。)	
	トランペット			初級	履修登録者数を5名に制限する。 (初級者に限る。担当教員と相談の上マウスピースを各自準備すること。)	
	トロンボーン			初級	履修登録者数を2名に制限する。(楽器所有者に限る。)	
	打楽器			初級	履修登録者数を5名に制限する。	
古楽	チェンバロ	2018年11月5日 (月) 16:00～ 2018年11月15 日 (木) 16:00	必要	初級	オーディションによって初級受講者を決定する。 ■オーディション日時：2019年2月5日(火)午後、副科古楽の試験終了後 (※時間・時間などの詳細は、古楽研究室前の掲示を確認すること)	人数によっては、受講できない場合があります。 また、履修希望者多数の場合、オーディションまたは面接を行うことがあります。  ※副科古楽(バロック・ヴァイオリン、バロック・チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ)について 大学所有の楽器を借用して履修する場合、替え弦の一部が自己負担になる。詳しくは、初回のレッスン時に説明があるので注意すること。
	フォルテピアノ			中級	【オーディション課題曲】(暗譜は任意) ○副科古楽チェンバロ(初級) J.S.バッハ：『インヴェンションとシンフォニア』または『平均律クラヴィーア(第1巻、第2巻)』から任意の1曲(『平均律』はプレリュードとフーガを合わせて1曲とする)	
				初級	○副科古楽フォルテピアノ(初級) J.ハイドンの以下3曲のソナタより、任意のソナタの第1楽章を選び演奏する。 「クラヴィーアソナタ」 Hob.XVI:40 G-dur、 Hob.XVI:41 B-dur、Hob.XVI:42 D-dur  ※オーディションを受ける学生は、事前(1月頃)に楽器の扱い方の説明及び試奏、練習を予約することができる。希望する者は古楽研究室geidaikogaku@gmail.comまで問い合わせること。 ※今年度の初級履修者が続けて中級を希望する場合には、初級の学年末試験をもって中級履修の可否を判断する。詳しくは担当教員に問い合わせること。	
	バロック・ヴァイオリン			初級	ヴァイオリン、ヴィオラ専攻生(またはそれに匹敵する学習経験を持つ者)を対象とする。 オーディションによって初級受講生を決定する。 ■オーディション日時：2019年1月30日(水)午後早め、副科古楽の試験終了後 (※時間・時間などの詳細は、古楽研究室前の掲示を確認すること)	
				中級	オーディション課題曲：J.S.バッハの無伴奏作品から一つの楽章を演奏する。楽器、弓、ピッチはモダン、バロックどちらを使用しても構わない。	
	バロック・チェロ			初級	バロック・チェロは、チェロ専攻生を対象とする。木曜日の2限、4限、5限にレッスンに来れる者に限る。	
				中級		

開設 教員 室	楽器名	履修希望 受付期間	入力 フォーム での申請	開設級	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
古楽	ヴィオラ・ ダ・ガンバ	2018年11月5日 (月) 16:00～ 2018年11月15 日(木) 16:00	必要	初級		人数によっては、受講できない場合があります。 また、履修希望者多数の場合、オーディションまたは面接 を行うことがあります。  ※副科古楽 (バロック・ヴァイオリン、バロック・チェ ロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ) について 大学所有の楽器を借用して履修する場合、替え弦の一部が 自己負担になる。詳しくは、初回のレッスン時に説明があ るので注意すること。
	中級					
	初級			フルート専攻生とリコーダー専攻生の学生を優先とする。 それ以外の専攻生については、オーディションによって受 講生を選抜する (フルート、リコーダー専攻の学生は受験 不要)。 ■オーディション日時: 2019年1月29日 (火) 午前、副科 古楽試験終了後 (※時間・時間などの詳細は、古楽研究室前の掲示を確認 すること) オーディション課題曲: 横笛 (モダン・フルート、フラウ ト・トラヴェルソ、邦楽の笛など) で5分程度の自由曲を演 奏する。		
	中級					
	初級			オーボエ経験者に限る。 ※履修者は、ロー社のイングリッシュホルンのチューブ (金メッキ) 2本を用意して初回のレッスンに臨むこと。		
	中級					
指揮	指揮法	2019年4月に CampusPlan上 で各自履修登録	不要	-	過年度に「副科指揮法 (I、II、III)」または「指揮法概 論 (A、B)」の単位を1つでも修得済みの学生は、履修申 請出来ません。	

開設 教員 室	楽器名	履修希望 受付期間	入力 フォーム での申請	開設級	備考1 (楽器ごと)	備考2 (開設教員室ごと)
邦楽	長唄三味線	2018年11月5日 (月) 16:00～ 2018年11月15 日 (木) 16:00	必要	初級	木撥、指掛け、膝ゴムの三点セット 5,500円 木撥 4,320円 指掛け 864円 膝ゴム 324円 譜面 1,100円 初回レッスン時に収める。	①副科邦楽器は、全楽器初級のみでの開設である。 (中級は開設しない。) ②人数によっては開講できない場合もある。
	常磐津三味線 ※2019年度 不開講			初級	セット内容 ブラ撥 5,500円 木駒高さ四分程度 4,800円 膝ゴム 640円 (320円 X 2枚) 指かけ 770円 (希望者には2枚 770円 x 2) 合計 11,710円 レッスン時に収める。	
	清元三味線			初級	譜面 1,100円 レッスン時に収める。	
	長唄			初級		
	常磐津			初級		
	邦楽囃子 (小鼓)			初級	2018年度以降邦楽囃子 (小鼓・大鼓・太鼓・笛) は履修登録者を制限する。	
	邦楽囃子 (笛) ※2019年度 不開講			初級	笛 (7本笛、プラスチック管) 1,800円 初回レッスン時に収める。	
	箏曲 (山田流)			初級	爪1組 4,000円 テキスト 2,000円 消耗品費 1,500円 初回レッスン時に収める。	
	箏曲 (生田流)			初級	爪1組 5,400円 テキスト 648円 消耗品費 1,500円 初回レッスン時に収める。	
	尺八 (琴古流)			初級	使用楽器:一尺八寸管 (備品を無料貸出し可能) 購入物品: 露切り 1,000円 (自作の物でも可) 教則本 2,592円 (科でまとめて購入) 初回レッスン時に収める。	
	能楽 (宝生流)			初級		
	能楽狂言			初級		
	能楽囃子 (小鼓)			初級		
	能楽囃子 (大鼓)			初級		
日本舞踊	初級	ガイダンス (面接) を実施するが、その結果受講できない場合がある。 浴衣・帯・白足袋を初回レッスンまでに準備すること。				
雅楽	初級	龍笛 5,400円 (プラスチック樹脂製購入代金) 箏 7,320円 (プラスチック樹脂製購入代金) (リード代金含む) 笙 楽器貸出可(楽器メンテナンス料15,000円) 初回レッスン時に専攻する楽器を決定した後に収める。				
ピアノ	副科ピアノ I (必修)	2019年4月に CampusPlan上 で各自履修登録	不要	-		
	副科ピアノ II (選択)	2019年1月4日 (金) 16:00～ 2019年1月15日 (火) 16:00 (予定)	必要 (入力フォーム ではなく、紙で の履修申請にな る予定です。)	-	詳細については、12月に掲示予定。	

# 副科実技についての補足事項

## ※補足事項1【履修対象者について】

学年		履修可否
学部生	1年次生	× (「副科合唱」、「副科指揮法」は1年次生も履修可)
	2年次生	○
	3年次生	
	4年次生以上	
大学院生	—	×

## ※補足事項2【一年間に履修可能な楽器数について】

専攻	一年間の制限科目数	備考
作曲	2科目	「副科独唱」 「副科合唱」 「副科指揮法」 「副科ピアノⅠ、Ⅱ」は、 この制限科目数に含まれません。
声楽	1科目	
ピアノ		
オルガン		
弦楽		
管打楽		
古楽		
指揮		
邦楽	2科目	
楽理		
音楽環境創造		

## ※補足事項3【履修希望者が定員を超過した場合について】

履修希望者が定員を超過した場合は、以下の基準に則り履修者を決定します。

- ①希望順位（各自第3希望まで記入してもらいます。）
- ②専攻（副科の履修が必修もしくは選択必修である指揮科・音楽環境創造科の学生を優先します。）
- ③学年（上級生を優先します。）

上記の基準により決定出来なかった場合は、ランダム抽選とします。

（副科古楽は除く。詳細は古楽備考欄を参照。）

## 【その他伝達事項】

専攻	伝達事項
邦楽科	<p><b>【邦楽科学生へ注意事項】</b></p> <p>(1) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線、長唄・常磐津・清元及び日本舞踊のカリキュラムにおいて、必修科目の「副専攻（邦楽囃子実技）」は「打物」（大鼓・小鼓・太鼓）の中から年間1種目のみ単位が認定される（履修希望調査票の提出は必要ない）。</p> <p>(2) 他の邦楽囃子実技を同時に履修した場合は、「副科邦楽実技」の単位枠の中で処理される（副科実技履修希望調査票の提出が必要）。</p> <p>◆邦楽科副専攻実技の履修について</p> <p>(1) 常磐津・清元の学生が、必修科目以外で他様式の浄瑠璃を履修する場合と、能楽の学生が、必修科目以外で他様式の能楽を履修する場合は、邦楽教員室へ問い合わせること。</p> <p>(2) その他の専攻の学生が、副専攻実技を履修する場合、必修科目については履修希望調査票の提出を必要としない。</p> <p>◆尺八専攻学生の副主専攻履修について</p> <p>二年次以降の副主専攻「箏曲実技」「三絃実技」の履修について別途申込みが必要となる。『「箏曲実技」・「三絃実技」履修について』の用紙を確認・記入し、教務係へ提出すること。</p>
音楽環境創造科	<p><b>【音楽環境創造科学生へ注意事項】</b></p> <p>副科実技の具体的な受講曜日・時間等は、通常新学期（4月）初めの副科実技担当教員との面談を経て決定される。</p> <p>しかし、副科実技は原則的に上野校地（副科ピアノは一部千住校地）で開講するため、上野校地に登校する機会の少ない本科学生のスケジュールが、実技担当教員のそれと必ずしも一致するとは限らない。</p> <p>従って、今回履修希望調査票の提出をしても、その副科実技を必ず受講できるというものではなく、あくまでも副科実技担当教員とのスケジュールが一致した場合にのみ受講が可能となるので、この事情に留意すること。</p>